

# 令和3年度 延岡市立南方小学校 学校評価書

## 1 期 日

令和4年2月25日（金）

## 2 出席者

学校評議員5名

## 3 資料

- 保護者による学校評価アンケート結果
- 学力テスト結果の概要
- アンケート結果をもとにした自己評価書

## 4 自己評価

### (1) 「学校に関すること」について

- 全体的には保護者の学校に対する評価は高いと考えられる。保護者アンケートに全保護者の80%が回答を寄せてくださったことから、学校への信頼と期待が高まっていると言える。不条理なクレームが寄せられることは少ない。

昨年度に引き続き、子どもの読書習慣が定着していないと感じる。学級で読書の時間を設定したり家庭での読書と呼びかけたりしているがなかなか効果は上がっていない。

#### <改善策>

##### ① 学校や地域との連携について

今後も、保護者や地域の方からの声に耳を傾け、進んでコミュニケーションを取るとともに、児童が安心して学習できる環境づくりに努めていきたい。また、学力向上への取組や学校生活の様子などについて、引き続き学校だよりや連絡メール、ホームページ、マスコミの活用などを通して発信していきたい。

##### ② 読書について

国語の授業での読書指導やPTAによる朝の読み聞かせなどを通して啓発を進めていきたい。また、PTA教養部によるアウトメディアの取組に合わせて、家読（うちどく）の呼びかけをさらに進めたい。

### (2) 「子どもに関すること」について

- 学校のきまりを守ったり、授業に集中して学習したりするなど、学校での基本的な学習・生活習慣が身に付いている児童が多い。反面、公園や道路での不適切な遊び方、自転車の乗り方などについて指導すべき事案がいくつかあった。地域の方から苦情が寄せられることもあった。

また、不登校や不登校ぎみの児童が複数おり、スクールソーシャルワーカーや延岡市子ども家庭課等の専門家と連携しながら改善に努めている。あいさつについては、以前より改善されてきたがまだまだ不十分であると感じている。根気強く指導していきたい。

#### <改善策>

##### ① 子どもの生活について

学校外での過ごし方については、児童への指導を続けるとともに、家庭を含めた地域全体での見守りや指導が必要であることを、あらゆる機会を通して伝えていきたい。

##### ② 不登校・不登校ぎみの児童の指導について

学校内で対応する組織をつくるとともに、スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携をさらに密にしていきたい。参観日などを活用し、不登校などの問題行動についての啓発を保護者に行ってきたい。

### (3) 「保護者に関すること」について

- 保護者のPTA活動への積極的な参加や授業参観、学級懇談への参加も高い評価であった。学校の取組に対して協力的な家庭が多いと感じている。生活習慣を身に付けさせようと努力している保護者が多い。読書についての評価が昨年同様低かった。

学校からの連絡をメールで行うことが多いが、多くの保護者が確認していることが分かった。学校ホームページについても、1日平均300~350名ほどが閲覧している様子が見られる。

PTA活動参加についての評価はそれほど高くない。本年度はコロナ禍で活動がかなり制限されたこともあり、改善点に気付くこともできた。

#### <改善策>

##### ① 保護者の学校教育への関わりについて

PTA役員と相談しながら、保護者や学校の負担を減らすためにPTA活動内容の見直しを図っていききたい。学校納入金の集計作業については、年度途中で銀行口座振替に移行し、安全性や保護者の負担を改善することができたと考えている。また、PTAバザー等、今後のPTA活動の在り方についても検討していく。

##### ② 学校ホームページの活用について

今後も周知を進めるとともに内容の充実を図っていききたい。本年度、学校で配付する文書をホームページに掲載することでペーパーレス化を少しずつ進めてきた。今後も、保護者の意見を聞きながら進めていきたい。

## 5 学校関係者評価

### (1) 「学校に関すること」について

- 学力テストの結果から、充実した指導が行われていることを感じる。今後も継続して学力を身に付けてほしい。
- 陰山メソッドの取組の成果が見られる。
- コロナウイルス感染症に伴う休業について、学校連絡メールで適切な情報が伝えられたことで混乱が起きなかった。
- 学校だよりで、保護者に寄り添った情報を提供してくださるので啓発が進んだ。
- コロナ禍の対応が難しかったと推察される。適切に対応していただいた。

### (2) 「子どもに関すること」について

- 玉ねぎや芋の栽培活動で子どもたちと一緒に活動してきたが、子どもたちのリーダーシップやコミュニケーションのすばらしさを感じることができた。成長していることが嬉しく頼もしい。
- 子どものあいさつが改善していると感じる。子どもたちのあいさつの声が聞こえ始めた。
- コロナ禍に関して、子どもたちなりに不安を感じたりたり気を遣ったりしているようである。今後も、子どもたちのことを第一に考えた指導を充実させて欲しい。
- 以前から公園に多くの吸い殻が落ちている。中学生が喫煙しているのではと思われる。また、休日などに大きな音を出して車やバイクに乗っている青年の姿が見られる。小学生に悪影響が出ることを心配している。